


# 警戒レベルを理解し 風水害に備えましょう

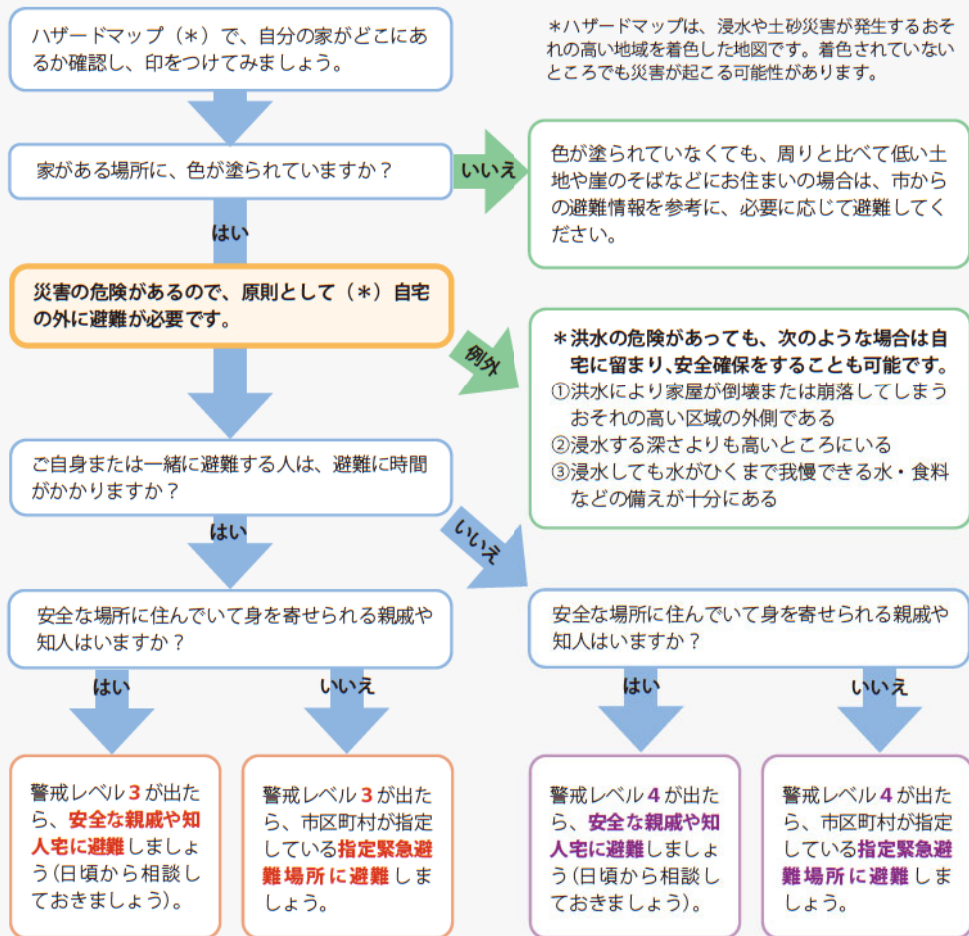
台風・豪雨時に備えて、ハザードマップと一緒に以下の「避難行動判定フロー」を確認しましょう。「自らの命は自らが守る」意識を持ち、自宅の災害リスクと取るべき行動を確認しましょう。

牧之原市洪水ハザードマップ  
(市ホームページ)

牧之原市 ハザードマップ 検索



## 避難行動判定フロー ～あなたがとるべき行動は？～



気象庁ホームページで、「洪水警報の危険度分布」を見ることが出来ます。お住まいの地域の状況を確認しましょう。

気象庁 危険度分布 検索



令和元年6月から、水害・土砂災害に関して避難情報が発令される際、皆さんが情報をより理解しやすいように、5段階表記の「警戒レベル」による情報伝達が運用されています。氾濫や土砂災害の危険が高まった場合、市から「警戒レベル」に応じた避難情報が発令されます。日頃から「ハザードマップ」や「避難行動判定フロー」による避難行動の確認や非常持出品の準備などを十分にしておきましょう。

問い合わせ 防災課 西原 ☎0056

警戒レベル	避難行動など	避難情報など
警戒レベル5	既に災害が発生している状況です。命を守るための最善の行動をとりましょう。	<b>災害発生情報</b> 災害が実際に発生していることを把握した場合に、可能な範囲で発令(牧之原市が発令)
警戒レベル4 全員避難	速やかに危険な場所から避難先へ避難しましょう。公的な避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や、自宅内より安全な場所に避難しましょう。	<b>避難勧告 避難指示(緊急)</b> 地域の状況に応じて、緊急的または重ねて避難を促す場合などに発令(牧之原市が発令)
警戒レベル3 高齢者などは避難	避難に時間を要する人(高齢の人、障がいのある人、乳幼児など)とその支援者は避難をしましょう。その他の人は、避難の準備を整えましょう。	<b>避難準備・高齢者等避難開始</b> (牧之原市が発令)
警戒レベル2	避難に備え、ハザードマップなどにより、自らの避難行動を確認しましょう。	<b>洪水注意報 大雨注意報</b> など(気象庁が発表)
警戒レベル1	災害への心構えを高めましょう。	<b>早期注意情報</b> (気象庁が発表)

- ▶警戒レベル3や4が出たら、危険な場所から避難しましょう。
- ▶「避難」とは、「難」を「避」けること、つまり安全を確保することです。安全な場所にいる人は、避難する必要はありません。
- ▶避難先は小中学校・公民館だけではありません。安全な親戚・知人宅への避難も考えてみましょう。

警戒レベル5は、すでに災害が発生している状況です。まだ避難できていない場合は、自宅の少しでも安全な部屋に移動したり、すぐ近くに安全な建物があればそこに移動したりするなど、命を守るための最善の行動をとってください。警戒レベル5災害発生情報は、市が災害発生を把握できた場合に、可能な範囲で出される情報であり、必ず出される情報ではありません。